

筑波大学システム情報系 教員公募（ビッグデータ解析に基づく防災基盤技術の研究）

筑波大学システム情報系では、人工知能技術を基盤とし、ビッグデータ・クラウドコンピューティング等を基盤とした「次世代サイバーインフラの構築と活用」、および、人工知能を組み込んだ「新たな交通関連サービス（Mobility as a Service）の開発とレジリエンス社会の構築」を目指し、下記の分野（A）～（G）各1名、合計7名（准教授5名、助教2名）の募集を行います。

- (A) ソフトウェア・システム構築技術（ソフトウェア検証・解析、セキュア分散システム、ディペンダビリティ、ブロックチェーンなど）
- (B) ヒューマンファクター（認知工学、人間機械共生系、安全性、信頼性、インタラクションなど）
- (C) ソーシャルロボティクス（ヒューマンロボットインタラクション、バーチャルリアリティ、人工知能、脳科学、及びこれらを支える基礎技術など）
- (D) モビリティイノベーションに基づく交通計画（交通需要予測、MaaS (Mobility as a Service)、シェアリング、インフラストラクチャー、交通行動分析など）
- (E) 新技術と政策評価の計量分析（政策評価の実証分析、MaaS (Mobility as a Service)に関わるRCT フィールド実験、応用計量経済分析、新技術の波及効果の分析など）
- (F) レジリエンス社会の構築に資する安心・安全な都市形成研究（減災対策、災害情報、避難行動分析・誘導技術、防災リテラシー、災害リスク評価、都市防災計画など）
- (G) ビッグデータ解析に基づく防災基盤技術の研究（地圏・水圏・気圏の防災技術、大規模計測システムによる力学解析、インフラストラクチャーの長期保全、宇宙技術の防災利用、気候変動など）

（詳細は <http://www.eis.tsukuba.ac.jp/recruit> をご覧下さい）。

本公募は募集分野

（G）ビッグデータ解析に基づく防災基盤技術の研究
の公募です。

本分野では、レジリエント社会の実現に向けて、多種多様な計測システムや大規模実験／数値解析から取得される巨大データ群の力学的分析を通して、学際的に防災基盤技術分野の研究および教育を開拓・展開する積極性と能力を有する方を募集します。

1 職務

大学院（構造エネルギー工学専攻）・学群（工学システム学類）における教育（担当する授業は「力学、材料力学、流体力学、防災工学等に関連するいずれかの科目を予定」）・研究、社会貢献活動および学内運営業務、「新たな交通関連サービスの開発とレジリエンス社会の構築」に関わる職務に意欲的に取り組むことができる方。

2 勤務形態

筑波大学の就業規則による。なお、助教の職位で採用となる場合には、5年間のテニユアトラック制（※）適用の年俸制教員となることに同意いただきます。

※テニユアトラック制

着任から5年目に学内規定によるテニユア獲得審査を実施し、審査にパスした場合には次年度より承継職員（任期の定めのない職員）となる制度。なお、テニユアトラック制期間に他の職位に昇任した場合もテニユア審査にパスしたこととなる。

3 応募資格

博士の学位（着任時期までに取得見込みの場合も可）を有し、専門分野において研究業績があり、組織の一員として職務を意欲的に遂行できる方。また、「新たな交通関連サービスの開発とレジリエンス社会の構築」に関わる職務に意欲的に取り組むことができる方。

4 着任時期：平成30年12月1日以降のなるべく早い時期で、遅くとも平成31年4月1日まで（応相談）

5 提出書類

（1）履歴書

（連絡先とe-mailアドレス、写真貼付、高等学校卒業後の学歴・職歴・研究歴、所属学会等が記載されていること。）

（2）応募概要（次の情報(i)–(iv)をまとめたA4判用紙1ページの書類）：

(i) 応募分野：募集する7分野(A)～(G)の中から応募する分野を記載すること。

（複数回答可、その場合は優先順位を付して最大3分野まで。）

(ii) 自分の専門分野を表すキーワード5個

(iii) 希望する職位（例1：助教 例2：准教授 例3：准教授または助教）

(iv) 主要業績のリスト（（3）研究・教育業績一覧で指定した主要業績（最大5篇））

（3）研究・教育業績一覧（掲載予定も含む。論文等の共著者名はすべて記入すること。）

(a)～(d) から主要業績を5篇以内選び、丸印等でマークすること。

(a) 査読付き学術誌掲載論文（IF=Impact Factor, SNIP=Source Normalized Impact per Paper, 被引用文献数（参照したデータベースも明記）がわかる場合は記載すること。また、著者が複数の場合には責任著者も明示すること。）

(b) 査読付き国際会議論文（採択率が分かる場合は記載すること。）

(c) その他査読付き論文で書籍に掲載されたもの

(d) 著書（分担執筆を含む。ただし専門に関わる書籍に限る。）

(e) 解説論文・総説論文・紀要

(f) 招待講演・基調講演

(g) 競争的外部資金獲得実績（研究代表者・分担者の区別を明記）

(h) 教育業績（最近5年間の担当科目・TA経験、指導学生の受賞・博士学位取得等）

(i) その他特筆すべきこと（特許、受賞、社会貢献等）

（4）（3）研究・教育業績一覧で指定した主要業績の別刷りまたはコピー（各2部）

（5）これまでの研究業績と着任後の研究計画を記載したA4判用紙4ページ以内の書類

可能なら、「新たな交通関連サービスの開発とレジリエンス社会の構築」との関わりについて述べること。

(6) 意見を求めうる方2名の氏名・所属・連絡先を記載したA4判用紙1ページの書類

6 選考方法

提出書類に基づいた書面選考を実施し、必要に応じてプレゼンテーション（セミナー形式）および面接を行います。なお、プレゼンテーションのための来校費用については本人負担となります。

7 応募締切：平成30年7月20日（金） 必着

8 応募書類送付先

筑波大学システム情報系長 加藤 和彦 宛

〒305-8573 茨城県つくば市天王台1-1-1

封筒には「システム情報系教員応募（第一希望の募集分野名を記載）書類在中」と朱書きし、配達記録等の履歴の残る方法で送付すること。なお、応募書類は原則返却いたしません。選考終了後、責任をもって処分いたします。

9 問い合わせ先

別紙一覧を参照ください。

(別紙)

各募集分野の問い合わせ先

募集分野名	担当者名 メールアドレス
(A) ソフトウェア・システム構築技術	亀山 幸義 kam@cs.tsukuba.ac.jp
(B) ヒューマンファクター	伊藤 誠 itoh@risk.tsukuba.ac.jp
(C) ソーシャルロボティクス	葛岡 英明 kuzuoka@iit.tsukuba.ac.jp
(D) モビリティイノベーションに基づく交通計画	谷口 守 mamoru@sk.tsukuba.ac.jp
(E) 新技術と政策評価の計量分析	秋山 英三 eizo@sk.tsukuba.ac.jp
(F) レジリエンス社会の構築に資する安心・安全な都市形成研究	糸井川 栄一 itoigawa@sk.tsukuba.ac.jp
(G) ビッグデータ解析に基づく防災基盤技術の研究	松島 亘志 tmatsu@kz.tsukuba.ac.jp